

## 環境リサイクル肉牛協議会第10回総会

### 特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第1回通常総会

日時 2009年5月30(土)10:40～

場所 帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター 実習講義室

### 会議 次第

1. 開会挨拶
2. 議長・議事録署名人の選出、書記指名
3. 議事
  - 1) 第1号議案 2008年度事業報告及び収支決算に関する件
  - 2) 第2号議案 2009年度事業計画及び収支予算に関する件
  - 3) 第3号議案 役員選出
  - 4) その他
4. 閉会

### 2008年度事業報告

1. 会員(2008年度)

1) 生産者	8
2) 流通業者	4
3) 消費者団体	2
4) 学研・指導機関	8
5) 飼料流通	5
合計	27名
2. 組織体制の整備と部門制の確立
  - (ア) 2008年7月4日に北海道の認定を受けて特定非営利活動法人に移行。
  - (イ) 理事が遠隔地に多いため拡大理事会の開催にして道立畜試会員の協力を得て会の運営に当たった。シンポジウム運営には道立畜試会員の全面的支援を得たが会務処理全体の役割分担による組織体制の整備は達成できなかった。
    - 1) 会の運営・全体情宣活動 = 総務部 → 事務局
    - 2) シンポジウム運営 = 事業部 → 畜産試験場
    - 3) アグリサイクル発行 = 編集部 → 事務局
    - 4) 「e-び-ふ」認定委員会 → 畜産大学、道立畜試
    - 5) 生産情報収集・資料作成・ホームページ → 事務局

3. 機関誌の発行  
機関誌「アグリサイクル」7号 10月29日発行。総ページ数 72ページ
4. インターネットホームページによる情報提供 <http://www.recycle-gyu.com>  
2-3ヵ月毎の年4-5回の更新を計画したが、3回に留まった。事務局体制の見直し・整備により情報発信力強化が必要。
5. 総会・理事会の開催
  - 1) 総会 第9回総会 2008年6月7日(土)10:00～  
場所 帯畜大 フィールド科学センター 実習講義室
  - 2) 理事会 8/23, 9/26, 2/20 計3回開催。活動状況点検と旅費規程などの整備  
(別紙資料) 役員旅費規程 参照
  - 3) 幹事会 5/17, 7/25, 8/7, 12/3 計4回開催。シンポジウムの企画・準備・運営。
6. 2008年度レインボー・パル基金助成対象活動の取り組み  
「北海道内細断型トウモロコシサイレージと副産物を活用した資源循環型肉牛肥育技術の確立と普及マニュアル作成に向けた調査研究」  
生産地・農家実態調査と副産物利用・肉牛肥育飼養関係の学術情報調査を行いその結果をHPに掲載。資源循環型牛肉生産シンポジウムを開催し、トウモロコシサイレージの肉牛肥育への導入条件やその意義浸透を図った。
7. 「e-びーふ」認定事業の取り組み  
自給飼料活用型モデル農家選定、認定作業に向けた事前調査を実施。  
滝上町 池田牧場
8. 資源循環型牛肉生産シンポジウムの開催
  - ・ 資源循環型食肉生産シンポジウム 2008
  - ・ テーマ : 輸入穀物に依らない牛肉生産を目指して
  - ・ 11月6日(木)13:30～16:30 会場:とかちプラザ 視聴覚室
  - ・ 主催/環境リサイクル肉牛協議会、共催/北海道アンガス牛振興協議会ほか6団体、後援/北海道肉牛研究会ほか5団体。
  - ・ 参加者 160人
9. 比較食味テスト  
e-びーふ牛肉と配合主体飼養牛肉との食味比較を総会・臨時総会およびシンポジウム開催と併せて実施。
10. 肉牛飼養技術研修会の開催
  - 1) 第1回 6月7日 参加者25名
  - 2) 第2回 3月21日 参加者15名

## 2008年度収支決算報告

(別紙資料) 決算書・監査報告、貸借対照表および財産目録 参照

## 2009 年度事業計画

(別紙資料) 平成 21 年度事業計画書 参照

### 1. 会員募集(2009 年度)

生産農家・流通業者・消費者団体・学術行政指導機関・飼料生産・流通関係者等  
広範囲に理解者を参集して目標会員数 合計 30 名以上。

### 2. 組織体、役割分担の明確化と整備

(ア) 部門制の確立と理事の割り当て

- 1) 総務担当 → 協議会の会務・運営(事務局)
- 2) 事業部・生産情報収集担当 → 資料作成
- 3) 事業部・機関誌編集・ホームページ担当 → 情宣活動全般
- 4) 事業部・「e-び-ふ」認証担当 → 農家調査、認定委員会

(イ) 理事 6 人体制を確立し、帯広近隣から理事を選出し、事務局の充実を図る。

・ 北ア協との連繋の強化を図る。

### 3. 通常総会と理事会の随時開催

- 1) 2009 年度第 10 回定期総会(NPO 法人第 1 回通常総会)
- 2) 理事会 必要に応じ開催する。

協議会活動の進捗状況の報告と分析。

### 4. 「e-び-ふ」認証事業の活性化; 認証農家の増加 : 定款5条1-①

- 1) モデル農場の展示紹介、パネル設置等の啓蒙活動を推進する。
- 2) 自給飼料活用による飼料自給率目標30%以上達成の農家選定を推進する。
- 3) E-び-ふ認証の発想の原点を顧みて認証制度を再点検する。

### 5. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 : 定款5条1-②

### 6. 2009 年度レインボー・パル基金助成事業の取り組み : 定款5条1-③

課題「道内遊休農地からのトウモロコシサイレージ生産と牛肉生産の連繋構築に向けた調  
査研究」 道立畜産試験場、畜産大学との共同研究を企画する。

### 7. シンポジウムの企画 : 定款5条1-④

- 1) 2009 年11月上旬開催予定 会場; 帯広市周辺
- 2) アンガス牛枝肉協励会と同調して生産者の参加促進を図る。
- 3) テーマの考え方 : 自給飼料による牛肉生産体制の構築と副産物の飼料活用  
デントコーンラップサイレージの調製技術と肉牛肥育用飼料価値
- 4) e-び-ふの比較食味テストを意見交換会に組み込み、配合主体と副産物利用生  
産牛肉の比較。

### 4. 機関誌発行・ホームページ編集 : 定款5条1-⑤

- 1) 会報発行 年1回(機関誌「アグリサイクル」8号を発行する。  
インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

## 2009年度予算案

(別紙資料) 平成 21 年度 特定非営利活動にかかる収支予算書 参照

## 役員選出

任期 2 年、2009 年 5 月 30 日から 2011 年通常総会の日まで

理事長 左 久

副理事長 嶋村 義文

理 事 花房 俊一

理 事 榛澤 保彦

理 事 山本 裕介\*

\* : 道庁の承認待ち

監 事 日高 智

監 事 内藤 順介

## その他

以上。